



# ふれあい 放水路

2001  
(平成13年)  
第92号  
11月



## 神戸川のサケ遡上そじょう

木の葉が色づき始める頃、神戸川ではサケの遡上が見られるようになります。

神戸川では、神戸川漁協の方々によるサケの捕獲と、稚魚の放流が行われており、今年春には約四万匹の稚魚が放流されました。

放流された稚魚は、海を目指して川を下り、成魚になるまでのおよそ三年から四年を海で過ごし、産卵のため再び川へ遡上します。神戸川には、今年も体長およそ六十七センチから七十センチに成長した見事なサケが遡上しました。

神戸川でのサケの捕獲は、島根県の特別許可を受け、主に投網を使って行われます。川に向かって勢いよく放たれた投網はきれいな円を描いて川の中へ吸い込まれていきます。一見簡単そうに見えますが、長年投網を扱っている人でなければうまく具合に網が開きません。網をたぐると、中ではサケが元氣よく水しぶきをあげている様子が見られました。

# 放水路の法面緑化技術について

現在出雲工事事務所では、放水路事業で失われる森を地域のみなさんとともに再生する「1000年の森づくり」を進めています。

その一環として、従来、切土法面の保護は植生基材吹付で草類を生やすことにより行っていましたが、それと併せて竹製ポットによる樹木の植栽を行うことにより、森の再生を早める試みを始めました。

今回はC谷工事用道路（将来市道となる予定）の切土法面で行っている2つの法面植栽工法について紹介します。

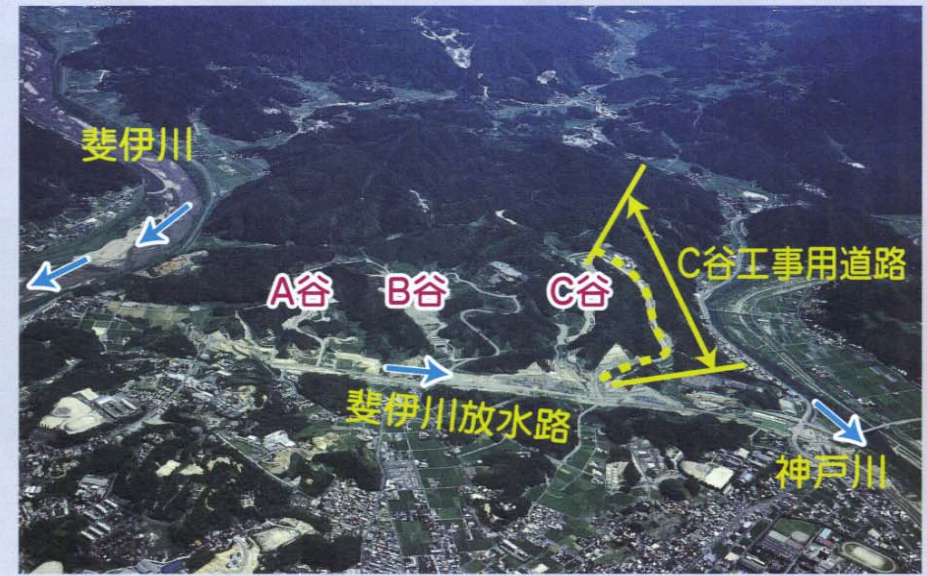
## 竹製ポットを用いた2つの法面植栽工法

ここでは、植生基材吹付で草を生やすのに加えて、竹製ポットで苗木を保護したものを法面に3本/m<sup>2</sup>植栽しています。

盛土法面では、通常の苗木を植えるだけでも元気に育ちますが、切土法面では土壌が固く根が入りにくく、また水分・栄養分が非常に少ないため、苗木が育ちにくい環境にあります。そこで、次のように竹製ポットで苗木を保護したものを法面に植えていきます。

木を植えるから早く森が再生できるよ!

### 植栽位置図<放水路開削部全景>



【施工箇所全景】

### 芽苗植栽工法

- 樹木の根によって法面を保護する。
- 肥料を与えずに育てた苗木で、やせ地でもストレスを起こしにくい。



直径2~3cmの竹筒に一年生(高さ10cm程度)の苗木が入っています。



植栽直後の状況



施工後1年6ヶ月の状況(他事例)

### ポット苗植栽工法

- 樹木と草類によって法面を保護する。
- 竹筒に土壌改良材を詰めるので、生育がよい。



直径約10cmの竹筒に二、三年生(高さ30~50cm程度)の苗木が入っています。



植栽直後の状況



施工後3年の状況(他事例)

### 従来の工法は...

法面に植物(草)の種と植生基材(土・肥料など)を混合したものを吹付します。1~2ヶ月で草が繁茂して法面の表面を保護することができます。



### ◆現場からひとこと◆

樹木を切土法面という特殊な場所に植栽するため、どんな木を、どれくらいの密度で、いつ頃植えれば森が早期に復元できるかを検討するのに大変苦心しました。放水路工事で失われた森が、早期に緑豊かな「1000年の森」へ回復することが私たちの願いです。

工事請負業者の現場代理人  
佐伯 忠 寛



## 🌿 こんな木を植えています 🌿



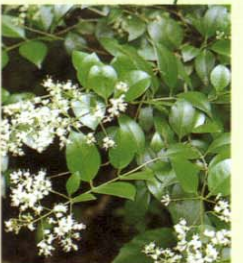
### ◀ タブノキ

クスノキ科の常緑高木です。葉をちぎるとクスノキの香りがします。



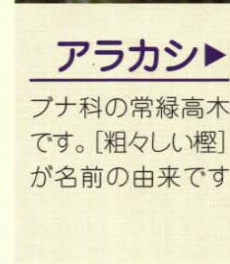
### ◀ スタジイ

フナ科の常緑高木です。葉の裏が白く光っています。



### ▲ ネズミモチ

モクセイ科の常緑小高木です。黒紫色の実がなります。



### ▶ アラカシ

フナ科の常緑高木です。[粗々しい榎]が名前の由来です。



### ▶ ウツギ(卵の花)

ユキノシタ科の落葉低木です。生垣や庭木にも用いられています。



その他、クリ、ケヤキ、ヤマザクラ、ヤマモミジ、ナンテン、ヤマツバキ、ムラサキシキブ、ヒサカキなど全45種を植栽しています。

# ふれあい放水路

## 通信

土木の日フェア  
放水路見学会開催

出雲工事事務所では、毎年、土木の日(十一月十八日)の行事の二環として、土木系学科の学生を対象とした現場見学会を開催しています。

今年十月二十三日、松江工業高校土木科二年生のみなさんに放水路事業の進捗状況等の見学をしていただきました。

放水路開削部では、担当者からの説明を受けた後、現場で働く超大型機械に実際に触れてもらいました。

普段目にする建設機械を上回る大きさとお迫力に、生徒達からは驚きの歓声があがっていました。



JICA(国際協力事業団)  
放水路見学会開催

十月三十日と十一月五日、JICA(国際協力事業団)の方々に、斐伊川放水路事業の見学をしていただきました。

発展途上国において治水・水資源開発は、産業・経済の安定と発展、生活水準向上を図る上でもっとも重要な課題となっています。

見学会では、放水路ふれあいセンターでのパソコンを使ったスライドによる事業概要説明の後、現在工事の進んでいる開削部や、去年四月に開通した古志

大橋を見ていただきましたが、担当者による工

法や新技術の説明に、みなさん熱心に耳を傾け、専門的な質問をたくさん投げかけていらっしゃいました。

ました。



### 斐伊川放水路の工事実施状況



(平成13年10月以降の発注工事)

| 工事名                       | 業者名     | 工期                         |
|---------------------------|---------|----------------------------|
| 斐伊川放水路<br>稗原1号排水樋門他ゲート工事  | 豊国工業(株) | 自 H13年11月6日<br>至 H14年3月29日 |
| 斐伊川放水路<br>新内藤川排水機場受変電設備工事 | (株) 東 芝 | 自 H13年11月6日<br>至 H15年3月31日 |



国土交通省中国地方整備局  
出雲工事事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5丁目1番地  
☎(0853)21-1850

メールアドレス E-mail:izumo@info.cgr.mlit.go.jp  
ホームページ http://www.cgr.mlit.go.jp/izumo/hyouji.htm

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先: ふれあい放水路担当  
放水路工事室 事業対策官